

## 【可搬式ポンプ不調原因対処説明資料】

# エンジンが始動しない

### 1 燃料コックの確認

- \* 「燃料コック」が「開」になっているか確認する。
  - ・ 燃料がエンジンに送られていないとエンジンは始動しません。

### 2 スロットルダイヤルの確認

- \* 「スロットルダイヤル」が「始動・吸水」位置になっているか確認する。
  - ・ 「スロットルダイヤル」が「停止」位置だとエンジンは始動しません。

### 3 ティクラの確認

- \* ティクラがある機種、ない機種がある。
- \* ティクラとは、エンジンのキャブレター内に余分に燃料を送り、混合気を濃くしてエンジンを始動しやすくします。
- \* 特に寒冷期など、エンジンが冷えている時に使用します。
- \* キャブレターにある棒を押すと、燃料がキャブレター内に直接送られます。
- \* 何度も押しつづけると、キャブレター内に燃料が溜まりすぎて、エンジンが始動しない恐れがあるので、「燃料コック」を閉じて、キャブレターのドレンバルブを「開」にし、溜まった燃料が出るか確認してください。

### 4 チョークの確認

- \* 「チョーク」がある機種、ない機種がある。
- \* 「チョーク」とは、寒い時期など、特にエンジンが冷えている時に使用すると、エンジンが始動しやすくなります。
- \* 「チョーク」とは、エンジンに吸気される空気の量を絞り、混合気を濃くしエンジンを始動しやすくする。
- \* 「チョーク」を閉めたまま、エンジンを始動し続けると、点火プラグに油が付着しやすくなりますので、点火プラグの電極が油等で汚れていないか確認する必要がある。
- \* エンジンの回転が安定すれば、「チョーク」を「開」にしてください。  
「閉」のままだとエンジンが止まります。

## 5 点火プラグの確認

- \* 点火プラグの電極が油等で汚れていないか確認する。
  - ・ 油等で汚れていると電極に火花が出ず、エンジンが始動しません。

# 吸水できない

## ポンプドレンコックの確認

- \* ポンプドレンコックが閉まっているか確認する。
  - ・ ポンプ内が真空にならず、水を吸うことが出来ません。

## 吸管の確認

- \* 吸管の先端部が完全に水中に入っているか確認する。
  - ・ しっかりと水中に入っていないと、十分な水を吸うことが出来ません。
- \* 吸管の先端部をゴミや泥等で塞いでいないか確認する。
  - ・ 水の吸い口を塞いでいるので、ポンプに水を吸うことが出来ません。
- \* 吸管の締付け不良で空気を吸い込んでいないか確認する。
  - ・ ポンプが真空にならず、ポンプ内に水を吸うことが出来ない。
- \* 吸管と水源の落差（真空性能 8 m）が大きく、ポンプ内に水を吸水できない。
  - ・ ポンプの能力以上の落差があるため、ポンプ内に水を吸うことが出来ない。
- \* 吸管がポンプ側に向けて上り勾配となっているか（山なりになっていないか）確認する。
  - ・ 一度、吸管内に吸水した水が、山なり部分で吸水の負荷となり、ポンプ内に行くまでに、水が落水する。

## 放水弁の確認

- \* 放水弁から空気の吸い込みがないか、放水弁のハンドルが確実に閉まっているか確認する。
  - ・ 放水弁から空気を吸込むと、ポンプ内が真空とならず、水を吸水することが出来ない。

# 放水圧力の低下した場合

## 吸管の確認

- \* 吸管先端部にゴミや泥等がつまり、しっかりと吸水できているか確認する。
  - ・ 吸管先端部を塞いでいると、十分な水量を吸うことが出来ないので、放水圧力が低下する。
- \* 吸管の締付け部分から空気を吸込んでいないか確認する。
  - ・ ポンプ内が真空にならず、水をしっかりと吸い放水することが出来ない。
- \* 吸管と水源の落差（真空性能 8 m）が大きすぎている為、ポンプ内に吸水できているか確認する。
  - ・ ポンプの能力以上の落差があるため、ポンプ内に水を吸うことが出来ない。

## 放水弁ハンドルの確認

- \* 放水弁がしっかりと開いているか確認する。
  - ・ 放水弁がしっかり開いていないと放水できない。

## 放水圧力の確認

- \* 放水圧力が不足していないか、圧力計を確認する。(0.5MP a 以上にしない)
  - ・ エンジンの回転が不足して圧力がない為、十分な水を勢いよく放水できない。

## ホースの確認

- \* 接続金具やホースから漏水していないか確認する。
  - ・ 接続金具から漏水していれば、必ず一時停水してから、再度接続しなおす。
  - ・ ホースの穴等から漏水していれば、漏水している穴にタオルや布等を巻いて応急処置し、穴が大きかったり、穴が多くある場合は、必ず一時停水して新しいホースと交換する。
- \* ホースがねじれたり折れたりしていないか確認する。
  - ・ ホースのねじれや折れは、思った以上に抵抗となり、十分な放水が出来ない。一度通水してしまうとホースが硬く重たく（70kg 以上）なり、動かしくくなるので、ねじれや折れを修正しにくいので、圧力を下げたり、一時停水したりして修正する必要がある場合もあります。